

信州大学医学部附属病院 産科婦人科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026 年 1 月 26 日

「子宮頸部嚢胞性病変の閉経前後における MRI 所見の比較検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6720
研究課題名	子宮頸部嚢胞性病変の閉経前後における MRI 所見の比較検討
所属(診療科等)	放射線科
研究責任者(職名)	前原真菜(医員)
研究実施期間	医学部長による許可日～2030年12月31日
研究の意義、目的	本研究は子宮頸部嚢胞性病変のうち良性病変であるナボット嚢胞と前駆病変の側面を持つ分葉状頸管腺過形成(Lobular endocervical glandular hyperplasia ; LEGH) の MRI 所見を閉経前後で比較検討します。両者の間での閉経前後の変化様式に違いがあるのかを明らかにすることで鑑別診断能向上を目指す目的で行います。
対象となる方	2015年8月1日から2025年11月30日の期間に当院で骨盤部 MRI 検査と子宮頸部細胞診検査を受けられた方
利用する診療記録	年齢、性別、閉経日、子宮頸部細胞診レポート(所見、診断)、MRI 画像
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、疾患別の MRI 所見の変化の違いについて検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 前原 真菜 (信州大学医学部附属病院・医員) 電話: 0263-37-2650

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学

術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。